

令和6年度 補助事業 実施一覧表

事業名	セラミックバレー・クラフト・キャンプ多治見	国際陶磁器フェスティバル美濃'24
実施団体名	一般社団法人セラミックバレー協議会 チェアマン 笠井 政志	国際陶磁器フェスティバル美濃実行委員会 会長 岐阜県知事 古田 肇
事業期間	令和7年3月15日～令和7年3月16日	令和6年10月18日～令和6年11月17日
事業場所	セラミックパークMINO（多治見市）	セラミックパークMINO（多治見市）
趣旨	アートとクラフトの街セラミックバレーを象徴するクラフトイベントとして、第1回目の瑞浪市での開催を皮切りに、土岐市、可児市と巡回し、節目の第4回目を多治見市で開催。	3年に一度開催される陶磁器の祭典であり、美濃焼産業、陶磁器文化及び地域の振興を主目的として開催。
事業内容	「やきもの」「木工」「アート」「マルシェ」「アパレル」「音楽」に加え地元企業によるPRブースなど、さまざまな要素が一堂に会する複合コンテンツを提供するクラフトフェア。 セラミックバレー・クラフト・キャンプ多治見 (TAJIMI NIGHT MARKET with CCC 含む) ・来場者数 約6,700人 (3/15 3,600人、3/16 3,100人) ・出店者数 271組 (作家・ブランド156組、ワークショップ4組、飲食46組、音楽出演者15組、企業・PR（観光協会含む）30組、TAJIMI NIGHT MARKET20組)	1 第13回国際陶磁器展美濃 メイン催事となる「第13回国際陶磁器展美濃」は過去最多となる世界77の国と地域から3,890点の応募があった。作品の審査は、国内外5名ずつの各分野の第一線で活躍する著名な審査員が審査を行い、入賞・入賞合わせて203作品を展示した。 2 産業・文化・地域振興事業 副催事では、「美濃焼と人」「美濃焼と食」「美濃焼と花」「美濃焼と音」の4つのテーマに沿った様々な催事を実施した。多種多様な美濃焼の魅力を国内外に発信した。
総事業費	16,000千円	199,435千円
補助額	3,000千円	15,000千円